

ヤブウツギ	<i>Weigela floribunda</i> (Siebold et Zucc.) K.Koch	絶滅危惧Ⅱ類
		スイカズラ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	落葉低木。葉は楕円形から狭楕円形で、長さ(3-)5-12cm、幅(1.5-)2-5cm、葉裏や葉柄に開出毛が多い。花冠は濃紅色、長さ3.5-4cm、外面に毛が多くある。子房に開出毛が密生する。	
生態的特徴	林縁などの明るい所に生育する灌木。花期は5-6月。	
分布状況	日本に固有で、関東以西の太平洋側の本州と四国に分布する。岐阜県では県南の最南端にのみ見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘